

資料－6

平成22年度第2回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

そ の 他

○沖縄東部河川総合開発事業

沖縄総合事務局開発建設部

平成22年度
沖縄総合事務局開発建設部
事業評価監視委員会

報 告

沖縄東部河川総合開発事業
(億首ダム)

平成22年11月25日

沖縄総合事務局 北部ダム事務所

報告概要

平成19年度に事業再評価として本監視委員会に諮った「沖縄東部総合開発事業(億首ダム)」について、費用対効果分析の再計算を下記のとおり実施したため、その結果を報告する。

再計算の背景

- 会計検査院より国土交通省に対し平成21年度決算検査報告があり、ダム建設事業における費用対効果分析の手法について意見表示

«該当部分の抜粋»

国土交通省において、ダム建設事業の費用対効果分析がより適切な算定方法に基づき行われるようにするため、次のような処置を講ずるよう意見を表示する。

評価時点より前に計上されるダム建設費等について、社会的割引率を用いて現在価値化することを明確にすること

- 国土交通省河川局河川計画課長から沖縄総合事務局開発建設部長に対し、上記を徹底する旨の通知

再計算の内容

評価時点より前に計上される費用及び便益を現在価値化する際、**社会的割引率**を用いて現在価値化するよう再計算した。

比較表

項目	評価基準年	便益B (億円)	費用C (億円)	B/C
新)再計算結果	平成18年度	410	331	1.24
旧)事業再評価時		382	302	1.26

注) 平成19年度の事業再評価で提示されたB/Cは、小数点以下第1位までの表示であったが、今回は、確認のため、小数点以下第2位まで表示している。